

今月の納入事例
Delivery case this month

自動アタッチメント交換装置 (AAC)

仕様

アタッチメント配列ピッチ径	φ1300 mm
AACマガジン走行距離	st800 mm
防塵カバー走行距離	st550 mm
シャッター開閉距離	st700 mm
AAC旋回駆動源	サーボモータ
駆動源	油圧 5 MPa 空圧 0.5 MPa

☆特徴 (Feature)

- ・6個のアタッチメントと防塵カバーを本機の主軸と交換する装置です。
- ・6個のアタッチメントを旋回円盤上に設けた専用受け台に配置し、サーボモータにて交換位置に割出し、自動交換します。



【福山城・鞆の浦 (とものうら)】

休日に天気の良いさに誘われて、福山市に行ってきました。
仕事では何度も行っていますが、初めて観光目的で訪れました。
新幹線で通り過ぎる時は、すぐ近くに福山城が見えますが本当に駅北口からすぐです。
ちょうど菊の展示会とも重なり天気もよくとても穏やかな一日を過ごしました。
時間があつたので車で南下し「鞆の浦」(とものうら)に行きました。ここも初めて訪れましたが、テレビや映画のロケ地にもなるぐらいで、とてもノストラジックな感じで心が癒される場所です。
のんびり一日を過ごしたい方は是非一度訪れてはいかがでしょうか。(営業部 杉元)



編集後記

大晦日には、「年越しそば」を食べますね。
年越しそばの由来を調べてみたら、諸説ありました。
そばは他の麺類と比べて切れやすいことから「今年一年の厄を断ち切る」という意味で、江戸時代から大晦日の夜に食べる風習が生まれたとされています。
また、昔からそばは体によいものとされ、食べると内臓に溜まった毒を取り払ってくれると思われていました。
そのため、新しい年を健康で迎えられるように、大晦日の夜にそばを食べたとされています。さらには、細く長い見た目から長寿への願いや、その昔細工師が散らばった金粉を集めるのにそば粉を丸めたものを使ったことから金運がよくなるように、といった願掛けもあったようです。それでは、みなさんよいお年をお迎え下さい。

弊社カタログ等の御請求は添付のFAX用紙にて申し込みいただくか、ホームページにアクセスして下さい。



この印刷には、環境にやさしい
植物油インキを使用しています。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています。

エイ・ティ・シイ株式会社について

会社名 : **エイ・ティ・シイ株式会社** ATC CO., LTD.
所在地 : 〒708-1306
岡山県勝田郡奈義町西原 380 番地 8
TEL : 0868-36-7360
FAX : 0868-36-8356
E-mail : atcltd@atc-ltd.co.jp
: **「工作機械設計 .com」**
ホームページ ▶ <http://www.kousakukikaisekkei.com/>
1'st ▶ <http://www.autotoolchanger.com/>
2'nd : **「エイ・ティ・シイ☆スタッフブログ」**
ブログURL <http://blogatc.blog46.fc2.com/>

<http://www.kousakukikaisekkei.com>
<http://www.autotoolchanger.com>

第85号
2017年11・12月

Advanced Technology & Creative

工作機械設計情報

【特集】

＜設計のポイント＞
三相交流電源

＜ぐっとくる話紹介＞

「ありがとうの握手で流した涙」

＜今月の納入事例＞

自動アタッチメント交換装置 (AAC)



工作機械周辺装置の専門集団

エイ・ティ・シイ株式会社

■ ご挨拶

すっかり寒くなってきましたね。今年も残すところあとわずかになりましたが、みなさんいかがお過ごしですか。

12月7日は、24節季のひとつ「大雪」に当たりました。「たいせつ」と読み「おおゆき」ではありませんよ!(^^)！大雪になると、あと少しで年末、なにかと忙しくなりますね。体調には気をつけて、新しい年を迎えましょう。



■ 工作機械周辺装置 設計のポイント

▶ 三相交流電源

一般的に機械装置の電源として三相交流電源を使用します。

一般家庭で使う単相交流電源を電灯と呼び、主に工場などで使われる三相交流電源を動力と呼びます。三相交流とは本来ならば3系統の電気を送るためには6本の電線が必要なところを、3系統の電気の位相を互いにずらすことで3本で送れるという優れた特徴を持っており、三相交流の最大の特徴は各相の値を瞬時で合計するとゼロになることです。

■ 三相交流の利点

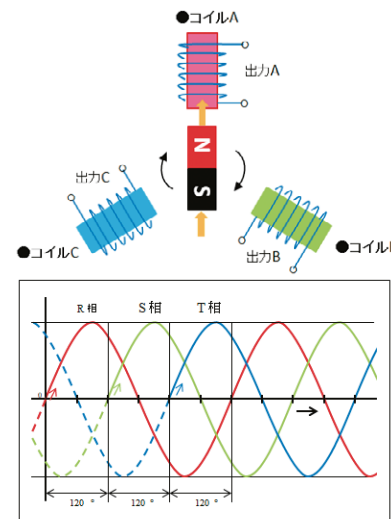
- 1：電線1本あたりの送電電力が大きい。
- 2：三相分の電力を3本の電線で送ることができる。
- 3：回転磁界が簡単に得られる。

■ 三相交流の発電原理

3つのコイルA、B、Cを互いに120°の角度を付けて配置してあります。

中央の磁石を回転させるとそれぞれのコイルに起電力（それぞれは単相交流）が発生します。

コイルに120°の角度があるので、発生する起電力も互いに120°ずれた波形になります。このような関係にある3つの起電力を三相交流と言います。



図A 三相交流の波形

■ 社員の独り言

【地縁団体（ちえんだんたい）】

私の町内で、現在は市が管理している公園があります。

この度、払下げにより町内会の管理になり新たに登記する事になりました。

従来、町内会（町会、自治会など）は法人ではなかったため、町内会が所有する不動産（自治会館など）は代表者の個人名義や役員の共有名義で登記が行われていました。しかしこれでは、代表者・役員が変更された時などに不都合がありました。

そこで、1991年4月に地方自治法が改正され、町又は字の区域その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体（地縁による団体）は、地域的な共同活動のための不動産又は不動産に関する権利等を保有するため市町村長の認可を受けたときは、その規約に定める目的の範囲内において、権利義務の帰属主体となることができるようになりました。

また、これからは町内の集会所（公会堂）など市の管理下である施設等の払下げが進むとの事です。今後は町内会単位で維持管理させる目的みたいです。



■ ぐっとくる話 紹介

【ありがとうの 1991年、本田宗一郎さんは亡くなっています。

握手で流した涙】生前、宗一郎さんは、こんなことを言っていたそうです。

「素晴らしい人生を送ることができたのも、お客様、お取引先のみなさん、社会のみなさん、従業員のみなさんのおかげである。俺が死んだら、世界中の新聞に“ありがとうございました”という感謝の気持ちを掲載してほしい」実は、宗一郎さんは結構早く、社長を引退しています。66歳で引退し、いわゆる「会長職」にも就いていません。「終身名誉顧問」にはなったんですけども、仕事からは、一気に離れたそうです。

で、社長を辞めた後、宗一郎さんは何をしたかということ、日本中にある、ホンダの事業所…販売店から工場から…当時、700カ所あったそうですが、その700カ所すべてをまわって、すべての従業員一人一人と握手して、「ありがとう、ありがとう、いつもありがとう！」と言い続けていたそうです。

しかも、中には、2～3人しか働いていないような、ものすごく田舎の販売店もあったのですが、…そんなところも全部まわったそうです。

そして、その後、海外事業部も全部まわったそうです。全部まわって一人一人と握手して…何年もかかったそうです。周りの人たちは、「ホンダの創業者が直々に握手しにいけば、社員のモチベーションはあがりますよね。

仕事をもっと頑張ってくれて、業績も上がりそうですね。だから握手しに行くんですね」って言っていたそうです。でも、実はそうじゃないんです。宗一郎さんはそんなこと、どうでもいいんです。自分がお礼を言いたいからまわっているだけだったんですって。

ある日ね、田舎の販売店をまわった時に、車の整備をしていた人が、「宗一郎さんが来た！」って聞いて、喜んで走ってきたんですって。握手してもらいに。で、握手をしてもらおうと思って自分の手を差し出した瞬間に、「アッ！」って言って、パッと自分の手を引っ込めたんですって。なぜかと言うと、手が油まみれだったんですね。仕事中に急いで走ってきたから。「今、洗ってきます！」って、手を洗いに行こうとしたら、宗一郎さんはその社員の背中に向かって、「その油まみれの手がいいんだ！」って言って、その整備士を引き止めて、握手したそうですよ、両手で。でね、嬉しそうにその手をながめて、目を細めて、手の油のにおいをかぐんですって。そんなの見てたら感動しますよね。泣きますよね。

宗一郎さん、こんなことも言っていたそうです。「握手すると、みんな泣くんだ。そして、その涙を見て、自分も泣くんだ」って。

すごいですよ、この人。だから、本気ですよ。この「ありがとう」は。本当に心からみんなに感謝しているんですよ。「はっと！気付くいい話」より

■ なんでも地域情報

今回は【あの日のおもちゃ箱・昭和館】の紹介です。



湯郷温泉街にレトロな雰囲気を出し出す観光スポットです。

ブリキのおもちゃ、蓄音機、少年マンガなど、大正から昭和30年頃までの懐かしいグッズを約1万3000点以上、展示しています。1歩入れば、まるでタイムスリップしたような空間が広がり、レトロな世界に惹きこまれます！

昭和30年頃の小学校の教室や台所、理容室なども再現され、細い迷路のように所狭しと並んだ展示物を回遊して見るができます。国内で動くのは最古級とされる自動販売機や、書籍コーナーでは貴重なマンガも展示され、テーブルコーナーで実際に読むこともできます。

これらはすべて、市内で絵画教室を開いている竹中信清さんが約30年間にわたり収集したもの。便利さだけを追求しがちな時代に「人と人とのつながりが色濃くあった時代をぜひ思い出して欲しい」という想いが込められているそうです。当時の懐かしいお話を聞いたり、クイズを楽しんだり、昭和世代の人には懐かしく、また若い人には新鮮に感じられて、ほんわか癒されます。

ちゃぶ台の部屋では、お茶漬けやたまごのぶっかけごはん、コーヒーでゆったり寛ぐこともできます。温泉街の散策途中にぶらり立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



岡山県美作市湯郷557-1